

第22回 砂防工事安全対策研究発表会

多治見砂防国道事務所では、安全意識の高揚を図り、建設労働災害ゼロをめざして、毎年、当事務所(砂防関係)発注工事受注者を対象に砂防工事安全対策研究発表会を開催しています。今年は、12月20日(月)にセラトピア土岐において、11題の発表が行われました。学識経験者を含めた審査員による審査の結果、最優秀賞1題、優秀賞2題の表彰を行いました。また、恵那労働基準監督署大口署長と三重大学堤教授をお招きし、「労働災害の発生状況等について」、「近年の土砂災害の特徴」と題してご講演いただきました。

開催概要

日時：令和3年12月20日(月)13:20～17:00

会場：セラトピア土岐 大会議室

参加：40名(工事受注者、事務所職員)

発表：11題(最優秀賞1題、優秀賞2題を選定)

講演

「労働災害の発生状況について」

恵那労働基準監督署 大口 力生 署長

「近年の土砂災害の特徴」

三重大学 生物資源学研究科

森林環境砂防学分野 堤 大三 教授

最優秀賞(1題を選定)

「令和3年度木曽川水系中津川第2護岸整備工事における工事安全対策について」(株)加藤工務店 青木 信彦様

(内容)

コストを抑えた安全対策・働きやすい職場環境創りなど

優秀賞(2題を選定)

「下沢沢流路工事の安全対策について」

木曽土建工業(株) 栗屋 圭介様

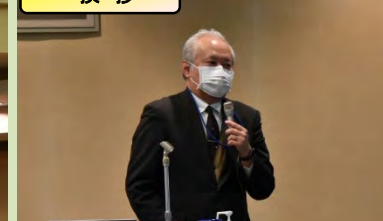
「妻木管内砂防施設改築工事における安全対策について」

(株)藤本組 西尾 誠二様

全体集合写真



挨拶



多治見砂防国道事務所 加藤所長

講演



恵那労働基準監督署 大口署長

講演



三重大学 堤教授

表彰



最優秀賞の表彰